



祝 辞

国際ロータリー第 2800 地区ガバナー 長谷川 憲 治

高畠ロータリークラブが、この度記念すべき創立 50 周年を迎えられました事に、第 2800 地区を代表し心からお祝いを申し上げます。1967 年に地区内 18 番目のクラブとして誕生されましたが、この当時は新クラブ設立のラッシュ時期でありまして、前年の 1966 年に 4 クラブ、1967 年には 3 クラブが地区内に誕生しております。以来 50 年間、真摯にロータリー活動に取り組み順調に発展を遂げて来られた事は誠に素晴らしい事で、歴代会長・幹事さんを初めとする会員皆様のご努力に対し、心から敬意を表します。特に、設立時に 35 名でスタートされましたが、今では 51 名と地区内 8 番目の会員数を擁するまでに成長されました。設立時の人数を割り込むクラブが少なくない中で立派な実績でありますし、更に申し上げれば当 2800 地区は人口 1 万人当たりのロータリアンが 14.7 人で、全国 34 地区中ロータリアン比率がナンバーワンであります。高畠ロータリークラブは更に上回る 21.4 人です。

何故それが可能となるのか興味がありましたが、9 月に公式訪問でお邪魔し、その理由が分かりました。実にまとまりの良い着実且つ活発で楽しいクラブだと実感しました。ベテラン会員から次代を担う若手までバランスの取れた会員を擁しておられる事も強みではありますが、何よりも実に和やかでアットホームな雰囲気強く印象に残りました。初めての訪問でしたが、ホームクラブに居るような感覚に捉われた事を覚えております。

奉仕活動にも積極的に取り組んで来られ、今回の記念事業もその志の高さに感服しました。是非その良き伝統を大切にされ、記念すべき創立 50 周年を機に更なる発展を遂げられますよう期待しております。

50 周年を迎える事の意義は、単に年月の重みを感じ喜び合う事に留まらず、この 50 周年を機にこれ迄の歴史を振り返り、来るべき 60 年・70 年、更には 100 年に向けてクラブをどう発展させていくか真剣に検討する機会とする事に有ると思います。この貴重な機会を捉え、全クラブ員の参画によるクラブの将来像の構築等に取り組んで頂ければ嬉しく思います。

最後になりましたが、記念すべきこの 50 周年を機に高畠ロータリークラブが、より充実した益々素晴らしいクラブに成長されます事とクラブ員皆様のご健勝・ご活躍をご祈念申し上げ、私からのお祝いの言葉と致します。50 周年、誠にありがとうございました！